

総合〈総合〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
経営学入門			11385	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
栗木 契	選択	2	官公庁や企業のアドバイザー、研修講師、社外取締役、等。			

授業の到達目標

このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とS（奉仕）を養うことをめざす。組織において経営にかかわる上で欠かせないコミュニケーション能力、情報活用力、社会情勢の理解、チームワーク、自然・文化への理解を養う。

授業の概要

20世紀に勃興した巨大企業は、神戸の地にも多くの足跡を残している。経営学はこの時期に、この巨大企業の誕生を受けて、アメリカをはじめとする世界の各国で発展していく。このクラスでは、マーケティング論を中心に経営学が現代の各種の企業をはじめとする事業主体において果たす役割を考える。入門のクラスとして具体的な経営に関わる事例を用いた講義を行う。

授業計画

- 1 オリエンテーション添付
- 2 経営とは何か
- 3 経営学とマーケティング
- 4 マーケティング・ミックス
- 5 製品政策
- 6 価格政策
- 7 チャネル政策
- 8 プロモーション政策
- 9 組織とリーダーシップ
- 10 消費者行動の分析
- 11 製品ライフサイクル
- 12 市場細分化
- 13 顧客関係管理(7月17日)
- 14 ブランド管理
- 15 まとめと振り返り

授業の方法

講義とクラスディスカッションを中心に授業を進める。

準備学修

各回の授業の事前学習等については、第1回目のガイダンスで説明

する。それ以外の準備学習の必要はない。

課題・評価方法、その他

平常点40%、最終レポート60%で成績評価を行う。平常点については、毎回の授業で、課題レポートの提出を求めるとともに、小テストを行い、その結果にもとづく評価を行う。

欠席について

欠席の有無は成績評価に直接は影響しない。ただし、毎回の授業時小テストへの回答を欠かすことは成績評価（平常点）に影響する。

テキスト

石井淳蔵、嶋口充輝、栗木契、余田拓郎著『ゼミナール・マーケティング入門・第2版』日本経済新聞出版、2013年

参考図書

伊丹敬之、加護野忠男著『ゼミナール経営学入門・第3版』日本経済新聞出版、2003年

総合〈総合〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
手話コミュニケーション I			11393	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
多賀 真里子／嘉田 眞典	選択	1				

授業の到達目標

- ・外見から分かりにくい聴覚障害者の暮らし、歴史などを学ぶ事によって同じ社会に生きる事を学ぶ。
 - ・聞こえないという事を理解し、接し方やコミュニケーション方法を習得する。
 - ・手話で自己紹介が出来るようにする。
 - ・簡単な会話ができるようにする。
- このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）を養う。

授業の概要

- ・音声言語と視覚言語の違いを理解する。
- ・手話を言語とする聴覚障害者の歴史・文化などの問題を学ぶ。
- ・聴覚障害者の暮らしを知り、情報バリアフリーについて考える。
- ・聴覚障害者の聞こえのしくみと制度を学ぶ。
- ・手話で自己紹介する。
- ・基本的な会話手話を習得する。
- ・レクリエーション

授業計画

- 1 オリエンテーション「聞こえないこととは」「コミュニケーションとは」/手話表現/指文字
- 2 実技(伝え合ってみよう)
- 3 DVD映画「ゆずり葉」鑑賞
- 4 実技(名前)
- 5 聴覚障害者の課題1
- 6 実技(趣味)
- 7 実技(仕事)
- 8 聴覚障害者の課題2
- 9 実技(家族)
- 10 実技(地図1)
- 11 聴覚障害者の課題3
- 12 実技(地図2)
- 13 実技(自己紹介しましょう)
- 14 実技試験
- 15 まとめ

授業の方法

DVDを使って進める。
視覚的ゲーム
手話実技・講義

準備学修

単語学習

課題・評価方法、その他

実技試験40%、レポート40%、授業20%

欠席について

校規に従う。

テキスト

手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう（全国手話研修センター）

参考図書

日本語・手話辞典